

大牟田市立天領小学校
学 校 通 信
令和5年6月23日
8号(文責:校長)

ムクロジ



防犯・不審者対応教室を実施しました

6月19日(月)、警察署の方にお出でいただき、防犯・不審者対応教室を行いました。はじめに、不審者に対して、自分の身を守る具体的な方法を「イカのおすし」の合い言葉で学習しました。

イカ：知らない人について**行**かない。

の：知らない人の車に**乗**らない。

お：「助けて!」と**お**おきな声を出したり、防犯ブザーを鳴らしたりする。

す：こわかったら、大人のいる方に**す**ぐににげる。

し：どんな人が何をしたか、家の人に**知**らせる。



子どもたちは繰り返し学習していますので、合い言葉の内容まで言うことができました。

次に、不審者は見た目では判断しにくい事を説明していただきました。一見優しく見えても、心の内は分かりません。知らない人とは、最低でも腕の長さ分は距離をとるというポイントも教えていただきました。近づきすぎないことが大切です。

さらに、自分の行動で大切な人を悲しませてはいけないという話もしていただきました。万引きをしたり、社会のルールを破ったりすると、自分の大切な人はどんな気持ちになるかをみんなで考えました。

あと1ヶ月で夏休みに入ります。この学習で学んだことを忘れず、安全に過ごして欲しいと思います。各家庭でも不審者対応や社会のルールなどについて話してみてください。



溝上のつぶやき・・・No.3

息子が小学1年生の時の話です。

銀水小に入学した息子は、近所の5年生の男の子2人と一緒に登校していました。いつも元気に「行ってきまーす!」と玄関を飛び出して行っていました。

ある日の朝もいつものように出かけ、私も「いってらっしゃい。気を付けてね。」と送り出した後、息子の姿を見ようと何気なく玄関のモニターのスイッチを入れました。すると、5年生の男の子2人に挟まれ、右からと左から交互に体で押される息子の姿が映ったのです。(ん?意地悪をされてる?)後ろ姿で表情が分からないので、一瞬ドキッとし、玄関を出て「何してるの!」と言いたくなる衝動に駆られましたが、(じゃれているだけかも。意地悪されてたら、あんなに元気に登校するはずがない。)と思い直しました。けれど、その日一日は、仕事をしていてもモニターに映し出された光景が頭から離れませんでした。

夕食の時、何気ない振りをして「学校はどう?朝、お兄ちゃんたちと一緒に行って楽しい?」と息子に聞きました。すると「すごい楽しいよ。お兄ちゃんたちも優しい!」と笑顔で返事が返ってきました。今朝見た光景は、ただのじゃれ合いだと分かりホッとしました。そして、「何してるの!」と言わなくて良かったと思うと同時に、子どもの世界をのぞかなければ良かったと感じました。息子には息子の世界があり、その世界は息子が自分の力で切り開いていくものです。見れば言ってしまうと、親が出過ぎると「あいつのお母さんうるさいから、付き合わんどころ。」と息子自身がつくるべき人間関係を邪魔してしまいます。

保護者の皆さんも、子育てをしながら不安になったことがあると思います。一つ一つ口を出すより、子どもが困った時に自分から何でも話してくれる親子関係を築くことの方が大切だと思います。まずは子どもの力を信じ、見守ってみませんか?そして、「困った時はいつでも話を聞くから。」という親のオーラを発しながら、ドンと構えてみませんか?私の失敗ストレスの話が、子育てのヒントになれば嬉しいです。